



火事がないとき、消防士はどんなことをしているの

災害を予防するための仕事をする

消防の仕事は、火事や地震などの災害や事故がおこったときに、わたしたちを守ってくれる大切な仕事です。火事のないときも、いろいろな活動をして、わたしたちの生命の安全を守ってくれています。

毎朝、消防車や救急車を点検し、事件がおこればいつでも出場（出勤）できるようにします。また、本当の火事にそなえて、訓練をつみかさねています。

道路にある、防火水そうや消火せんの点検も、消防の大事な仕事のひとつです。消火せんのコックをまわして、ちゃんと水や消火液が出るかどうかなどを確認します。

学校や地域の人たちを集めて、火事や災害にあったときのために、消火訓練やひなん訓練を指導したりします。

家やビルを建てる時、火事や地震などに強い設計になっているか、設計のとおり建てられているかなど、チェックします。また、ビルなどを訪問し、中で働いている人がひなんできる通路があるか、消火のじゃまになるものが通路においてないか、などをチェックします。

人命救助の仕事

消防の仕事は、火事を消すだけではありません。けがした人や急に病気になった人を、いそいで病院に運ぶ、救急隊の仕事もしています。大きな事故や、地震などの災害がおこったときには、人の命を救うことを第一にして活動しています。（監修・青木 国夫）

